

定期学習会の記録

2009/09/05 尾間木公民館

出席者 三浦 片田 佐藤 金子 三浦 遠藤 阿部 福島 矢野

■近況報告

■広島平和宣言（2009）視聴

・64年目ということで、将来、実際に体験した人がいなくなってしまう。昔の話として忘れられてしまっはいけない。語り継いでいくことが必要だ。自分で資料館などを見たい。

・そもそも武力とは国家防衛のためとは思うが、防衛の目的では、核兵器は必要ないと思う。きっと、他の国を侵略するために核兵器を持っているところから守るために、核兵器が必要になるという悪循環だと思う。次の世代に伝えるにあたっては、自分が知っていないといけないと思う。

・自分の担任の先生が被爆者ということで、自分の学校の生徒に話を聞かせたいと思っていたが、今年ようやく呼ぶことができた。人とのつながりという面も含めて、良かったと思う。

・2020年に核兵器を全廃するにあたって、核保有国の首脳を被爆地に訪問させるなど、ようやく動き出した感じがする。

■イベントのまとめ

- ・書き損じはがき 82枚
- ・使用済み切手 2390枚
- ・プリペイドカード 69枚
- ・ペットボトルキャップ 2073個

★アンケートより

★取り組み

- 現役の中高校生に、良い引き継ぎができていた。
- 早い段階で練習やりハーサルに取り組めた。
- 仕事を探して取り組む人が多かった。
- △地雷について学習をする時間を事前に設けた方がいいのではないか。

★当日

- すすんで説明している人が多かった。
- △仕事がないとき、外に行って呼びかけをすればよかった。
- △お客さんがいない時間帯の過ごし方、意識。

△小さい子に対する説明方法の工夫。

→ペーパーアートや簡単な話の作成など

→歴史的な事実や出来事などの話

→借りてきた地雷の説明プレートをわかりやすく作る

△国際交流コーナーが、折り紙をする場所になっていた。

☆→目的をきちんと説明する。

→メッセージを中心にする。

→折り紙は、最後に大きな作品にしたらどうか。(地球やハートなど)

→受付に折り紙を置いておき、作ってもらったらどうか。

△スタッフがまんべんなく配置されるように、周りを見る。

☆パネルでの発表だけではなく、配れるレジュメを作成する。

☆水瓶など、実物とともに、重さを体験できるものを用意する。

★会場

△順路を考える(国際交流コーナーは最後のほうがいい?)

→呼び込む時、年齢に応じて案内する場所を考える。

★広報

○イベントを振り返って

・イベントがスムーズにいったことだけではなく、このような活動について考えてくれる人がいてくれることがすばらしいことだと思う。